

日本建築センターの評定取得 ホウ素系防腐防蟻剤が型式認定住宅にも



日本を代表する名城・熊本城（本丸御殿、他4ヵ所）でも採用

ホウ素系防腐・防蟻剤専門メーカーの株式会社エコパウダー（埼玉県草加市 齋藤信夫社長）が製造・販売するホウ素系防腐防蟻剤「エコボロンPRO」が一般財団法人日本建築センターの評定を取得した。

評定の申し込みを行ったのは平成25年5月31日。平成26年（2014年）1月21日付けで、評定報告書の通り妥当なものとして評定を受けた（評定番号BCJ評定DB002101）。6月になって評定書が同社に交付されて公表された。

評定の件名は、「日本工業規格K15712020附属書A（規定）による認定薬剤「エコボロンPRO」を住宅性能表示制度において使用するための施工マニュアルに関する評定」。社団法人日本木材保存協会認



日本建築センターの評定（2014年）

定の防腐・防蟻剤（適用範囲JIS K15711附属書A）の評価上の取り扱いについて」において示された施工マニュアルを対象として、その記載内容の妥当性について評定したものである。

この施工マニュアルとは、設計評価の際に認定書と合わせて添付が必要となる書類で、認定薬剤メーカーが作成するものである。また、この日本木材保存協会の認定とは、先述のJISの附属書に基づいたもので、適用範囲としては「屋根・外壁板などによって風雨から遮断され、かつ地面に直接接触しない建築用木材のように、通常、水分が供給される可能性が少ないが、突発的に高湿度の環境下におかれる可能性のある木材に使用する木材保存剤」と定め



日本木材保存協会の認定（2011年）



エコボロン® 浸透タイプ

ホウ酸塩を高濃度で安定させた特殊水溶液。無色透明で噴射器で施工。浸透して木部を守る。写真左は吹き付け塗装の例。右は製品。

エコパウダー® BX 塗料浸透タイプ

国内初特許。炭粉末とホウ酸塩を配合したホウ素系防腐防蟻塗料。写真は施主参加施工の例

られている。従来、このように適用範囲を限定した規定は存在しなかったが、水分、湿度、風雨による影響を受けるホウ素系のような薬剤でも、その影響を受けにくい用途に限定して試験評価することが認められるようになった。その結果、「エコボロンPRO」が防腐・防蟻性能基準を満たすことが確認され、今から約3年前の2011年9月5日に、木材保存協会の認定を取得した。

その後2年半を経て、エコパウダー社が作成する施工マニュアルにおいても、その記載内容の妥当性が第三者機関である日本建築センターに認められ、このたび日本建築センターの認定を取得したというのが、全体の経緯である。

この建築センターの認定取得を、2011年の認定取得に続く大きな前進として喜んでいるのが、齋藤信夫社長である。齋藤社長は次のように語る。

「認定を取得したことは、住宅メーカーやビルダーにとって朗報です。それに大手の住宅メーカーの安心感を求めているエンドユーザーにとっても朗報と言えるでしょう。なぜかといいますと、型式適合認定を受けている住宅メーカーの住宅では、在

来工法やツーバイフォー工法のような共通の作り方があるわけではなくて、メーカーごとや商品ごとに独自の施工マニュアルがあつて型式認定を受けていますから、そこで使われる防腐・防蟻剤も施工マニュアルの妥当性が公的機関で認められていなければ使うことができないんですよ。認定を取得してようやく利用してもらええる条件が整ったのです」

認定を取得する際には、専門の研究者の監修のもとで万が一のことを想定して徹底的に内容が検証された。その結果、構造材の樹種や合板、OSB、構造用パネルにおけるエコボロンPROの施工マニュアルについての詳細なデータを得た。処理対象となる木材は含水率がどの位で処理するのが適切なのか、雨対策は十分か、平米あたりの塗布量と塗布方法、塗布器具は適切であるか、など、検証は詳細に及んだ。その結果、型式適合認定住宅においても「エコボロンPRO」が指定可能となった。

エコパウダーが製造・販売してきたホウ素系防腐防蟻剤は、12年ほど前から発売してきた。健康住宅志向が高まりつつあった当時、土台などに塗られた防腐防蟻剤の成分も意識する業者や住まい手が現れてきたこ

とが事業のチャンスとなった。しかし、5年ほど前までは、違いがわかる一部の事業者が使う程度にとどまっていたが、3年前に日本木材保存協会の認定を受けて長期優良住宅を建てる際の必須条件である劣化対策等級3の条件を満たすための防腐防蟻剤としても認められたため、行政の補助金を活用して長期優良住宅を建てようとする際に広く活用されるようになった。

今回の認定の取得により、公的機関で認められた施工マニュアルの添付を必須としているプレハブメーカーをはじめとした住宅メーカーの型式適合認定住宅においても、劣化対策の材料として指定できるようになった。これらの大手住宅会社の型式認定住宅の割合は戸建住宅全体の2割以上を占めているといわれる。

エコパウダーでは、現在（2014年6月末）155店舗の販売・施工代理店、1868店舗の認定施工店、2800社の商品出荷企業、3001名余の認定施工士を擁している。それでも新築の木造全体では、まだ1〜2%ほどのシェアに過ぎないホウ素系の防腐防蟻剤にとって拡大のチャンスとなりそうだ。